

兵庫県西脇市 校務DX計画

1 現状と課題

令和6年度に全校が回答した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」の自己点検結果のうち、本市の多くの学校（80%以上）で実施される項目を次に示す。これらの項目については、全校で確実に実施できるように早急に取り組んでいく。なお、値については、半分以上行っていると回答した学校の割合となる（※一部2択のリストも存在する）。

項目	本市現状値	全国値
学校徴収金について、現金徴収ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して徴収金の徴収を行っていますか。	91.7%	76.8%
保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	100%	60.6%
学校から保護者へ発信するお便り・配布物をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。	100%	48.6%
保護者から学校への提出資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。	91.7%	76.8%
児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	91.7%	54.0%
教職員は校務用の個人メールアドレスが付与され、それを業務で利用していますか。※付与されている	100%	82.2%
教職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。※取り入れている	91.7%	77.0%
職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。	100%	76.5%
教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	83.4%	66.5%
授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか。※取り入れている	91.7%	45.9%
長期休暇期間（夏休み等）の教職員の動静調査をクラウドサービスを用いて実施・管理していますか。※用いている	83.3%	36.1%

次の項目の実施率は、全国値を上回っているものの、学校間における活用に差が見られるため、すでに実施している学校での活用状況を共有し、さらに多くの学校で実施できるように取り組んでいく。

項目	本市現状値	全国値
業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか。※整えている	41.7%	27.9%
保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。	25.0%	12.9%
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか。	41.7%	39.1%

クラウドサービスを活用し、授業中の小テスト等に CBT を取り入れていますか。※取り入れている	50.0%	36.5%
児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか。	50.0%	28.2%
教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか。	50.0%	39.7%
学校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。	58.3%	31.8%
職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。	58.3%	29.3%
授業研究会や校内研修等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	8.3%	6.2%
学校から教職員に紙で提出を求めている書類はありますか。※ない	16.7%	4.7%
職員会議等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	8.3%	1.1%
「FAX の利用が例外的に必要と考えられる業務※」以外の日常の業務に FAX を使用していますか。※使用していない	41.7%	22.9%
「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成 AI を校務で活用していますか。	16.7%	2.6%

次の項目の実施率は全国値を下回っているため、問題点を確認し、確実に実施できるように取り組んでいく。

項目	本市現状値	全国値
児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。	66.6%	75.5%
学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。	0.0%	4.7%
宿題（学期中のもの）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。	16.7%	18.0%
宿題（長期休暇中）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。	8.3%	17.1%
校内研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか。※取り入れている	25.0%	45.9%
教職員から学校へ提出する事務手続き資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。※	16.7%	24.1%
1人1台端末のパスワードについて、教職員が把握し一括で管理するのではなく、児童生徒に管理を任せていますか。※児童生徒に任せている	16.7%	40.5%
業務で押印が必要な書類はありますか。※ない	0.0%	7.3%

2 今後の計画

上記1の課題に基づき、以下のとおり校務DXに向けた検討を進める。

(1) 校務における生成AI活用の推進

文部科学省が示す「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を遵守した上で、校務における利活用の実践を進める。

(2) 教育データ活用の推進

教育データの活用に向けて、国や県、他のシステム等の動向を踏まえつつ、調査研究を進め、教育の質の向上や業務の効率化へと繋げる。

(3) 校務支援システム等の更新に向けた検討

GIGAスクール構想による1人1台端末の学習系ネットワークと児童・生徒の個人情報等を取り扱う校務系ネットワークとのデータのやり取りの効率化に向けて、ネットワーク統合やアクセス制御による十分なセキュリティ対策を講じたゼロトラストに基づく環境の整備を、国や他の自治体の動向を捉えながら調査研究していく。